

# 用地関係積算要領

## 新旧対照表

令和7年版  
(令和7年11月)

改正案	現行		
<p>I (略)</p> <p>II 業務費</p> <p>1 (略)</p> <p>2 業務費の内容</p> <p>(1) 調査測量業務価格</p> <p>ア 直接調査測量費 (略)</p> <p>(ア) ~ (ウ) (略)</p> <p>(エ) 直接経費</p> <p>(a) 旅費交通費 (略)</p> <p>(a)-1 (略)</p> <p>(a)-2 旅費交通費の率を用いた積算（宿泊、滞在を伴う業務の場合）</p> <p>① (略)</p> <p>② 率を用いた場合の<u>宿泊費・宿泊手当</u>の積算</p> <p><u>ア) 宿泊費</u></p> <p><u>宿泊費は旅行中の宿泊に要する費用とし、その額は地域の実情を勘案して定める宿泊費基準額（税抜き）（下記表を参照）と現に支払った額（税抜き）を比較し、いずれか少ない額とする。</u></p> <p><u>（削る。）</u></p>	<p>I (略)</p> <p>II 業務費</p> <p>1 (略)</p> <p>2 業務費の内容</p> <p>(1) 調査測量業務価格</p> <p>ア 直接調査測量費 (略)</p> <p>(ア) ~ (ウ) (略)</p> <p>(エ) 直接経費</p> <p>(a) 旅費交通費 (略)</p> <p>(a)-1 (略)</p> <p>(a)-2 旅費交通費の率を用いた積算（宿泊、滞在を伴う業務の場合）</p> <p>① (略)</p> <p>② 率を用いた場合の<u>日当・宿泊料</u>の積算</p> <p><u>業務に対して定められた係数（下記表を参照）に延べ宿泊日数及び滞在日数を乗じた額を、日当・宿泊料として積算すること。</u></p> <p><u>往復旅行時間にかかる直接人件費については、別途計上する。</u></p> <p><u>同一業務の中で、複数業務の積算を行う場合は、それぞれの業務の率を用いて算出すること。</u></p> <table border="1" data-bbox="1435 1214 1816 1315"> <tr> <td><u>日当・宿泊料（千円）</u></td> </tr> <tr> <td><u>7.3X</u></td> </tr> </table> <p><u>X：延べ宿泊日数及び滞在日数（休日補正日数は除く）</u></p>	<u>日当・宿泊料（千円）</u>	<u>7.3X</u>
<u>日当・宿泊料（千円）</u>			
<u>7.3X</u>			




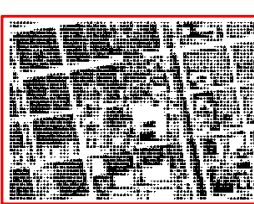




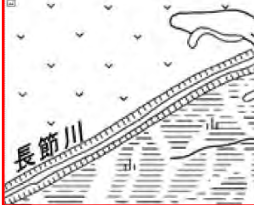
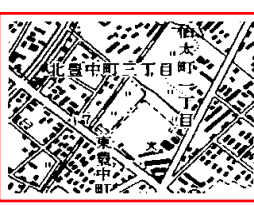
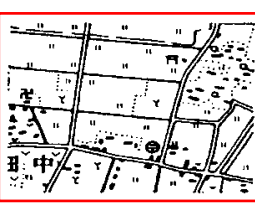
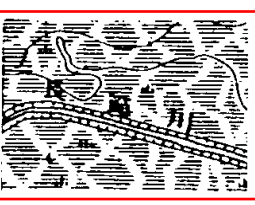

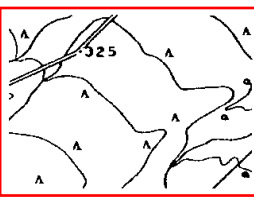
改 正 案				現 行	
<u>宿泊費基準額（円・税抜き）（一夜につき）</u>				<u>（新設）</u>	
<u>区分</u>	<u>宿泊費基準額 （一夜につき）</u>	<u>区分</u>	<u>宿泊費基準額 （一夜につき）</u>		
北海道	11,818	滋賀県	10,000		
青森県	10,000	京都府	17,272		
岩手県	8,181	大阪府	11,818		
宮城県	9,090	兵庫県	10,909		
秋田県	10,000	奈良県	10,000		
山形県	9,090	和歌山県	10,000		
福島県	7,272	鳥取県	7,272		
茨城県	10,000	島根県	8,181		
栃木県	9,090	岡山県	9,090		
群馬県	9,090	広島県	11,818		
埼玉県	17,272	山口県	7,272		
千葉県	15,454	徳島県	9,090		
東京都	17,272	香川県	13,636		
神奈川県	14,545	愛媛県	9,090		
新潟県	14,545	高知県	10,000		
富山県	10,000	福岡県	16,363		
石川県	8,181	佐賀県	10,000		
福井県	9,090	長崎県	10,000		
山梨県	10,909	熊本県	12,727		
長野県	10,000	大分県	10,000		
岐阜県	11,818	宮崎県	10,909		
静岡県	8,181	鹿児島県	10,909		
愛知県	10,000	沖縄県	10,000		
三重県	8,181				
<p><u>イ) 宿泊手当</u></p> <p><u>宿泊手当は、宿泊を伴う旅行に必要な諸雑費に充てるための費用とし、その額は、通常要する費用の額を勘案して定める一夜当たりの定額2,181円（国内一律、税抜き）とする。</u></p>				<u>（新設）</u>	

改正案	現行
<p>③ （略）</p> <p>(a) -3 旅費交通費の率を用いない積算</p> <p>① 通勤及び宿泊・滞在の区分</p> <p>ア) （略）</p> <p>イ) 現地に滞在して業務を行う場合                  上記ア)の範囲を超え、現地に滞在して業務を実施する必要がある場合は、<u>② 旅費交通費の取扱い で定める宿泊費及び宿泊手当</u>を適用するものとする。</p> <p>また、土地調査測量業務においては、滞在地から現地までの連絡車（ライトバン）運転にかかる機械経費及び材料費は、標準歩掛の機械経費及び材料費に含むものとし、別途計上しない。</p> <p>② 旅費交通費の取扱い  <u>(削る。)</u></p> <p>ア) 鉄道__賃等</p> <p>(i) 鉄道__賃等については、その乗車に要する運賃 <u>(特急料金等を含む)</u> を計上する。</p> <p>(ii) 複数の経路がある場合、<u>以下a)～e)のいずれかに該当する経路の鉄道賃等を計上することができる。</u></p> <p><u>a) 最も安価な経路</u></p>	<p>③ （略）</p> <p>(a) -3 旅費交通費の率を用いない積算</p> <p>① 通勤及び宿泊・滞在の区分</p> <p>ア) （略）</p> <p>イ) 現地に滞在して業務を行う場合                  上記ア)の範囲を超え、現地に滞在して業務を実施する必要がある場合は、<u>役務関係技術者賃金表の技術者等の日当・宿泊料の項</u>を適用するものとする。</p> <p>また、土地調査測量業務においては、滞在地から現地までの連絡車（ライトバン）運転にかかる機械経費及び材料費は、標準歩掛の機械経費及び材料費に含むものとし、別途計上しない。</p> <p>② 旅費交通費の取扱い</p> <p><u>ア) 旅費交通費の積算において、普通日額旅費については、積算上計算しないものとする。</u></p> <p>イ) 鉄道<u>運賃</u>等</p> <p>(i) 鉄道<u>運賃</u>等については、その乗車に要する運賃 _____ を計上する。</p> <p>(ii) 複数の路線がある場合は、<u>安い方の運賃を計上する。</u></p>

改正案	現 行
<p><u>b) 最も安価な経路に比べて、移動時間の短縮が可能である経路</u></p> <p><u>c) 最も安価な経路に比べて、乗換回数が少ない等、交通の遅延等による経路変更や取消・変更料の発生の危険性が低い経路</u></p> <p><u>d) 最も安価な経路が航空機を用いない経路である場合において、最も安価な経路によると出発地から用務先までの旅行時間に4時間程度以上を要するときの、航空機を用いる経路</u></p> <p><u>e) 最も安価な経路では日帰りができない場合において、日帰りが可能となる経路</u></p> <p><u>(削る。)</u></p> <p><u>イ) 宿泊費</u>  <u>宿泊費については、(a)-2 ② ア) 宿泊費のとおりとする。</u></p> <p><u>ロ) 宿泊手当</u>  <u>宿泊手当については、(a)-2 ② イ) 宿泊手当のとおりとする。</u></p>	<p><u>(iii) 特急料金等については、次により計上するものとする。</u></p> <p><u>a) 特急列車を運行している区間については、片道100km以上(乗車可能区間)であれば、特急料金を計上する。</u></p> <p><u>b) 急行列車を運行している区間については、片道50km以上(乗車可能区間)であれば、急行料金を計上する。</u></p> <p><u>ウ) 宿泊料</u>  <u>宿泊料は、役務関係技術者賃金表による。</u></p> <p><u>エ) 日当</u>  <u>日当は、役務関係技術者賃金表による。</u>  <u>日当は、宿泊を伴う場合で、積算上の基地から目的地への往復に要した日数について計上する。</u>  <u>計上する日当については、2分の1日当を原則とする。</u></p>

改正案	現 行
<p>③ 宿泊を伴う外業所要日数の休日補正の算定            宿泊を伴う外業所要日数の休日補正は、外業に従事する技術者別に次式により算出する。  <math display="block">D_i = C_i + [(C_i - 1) / 5] \times 2</math>           （土曜・日曜を休日とする場合）            ただし、[ ] 内については、小数点以下を切捨て整数とする。  <math display="block">S_i = D_i \times (\text{技術者別編成人員})</math>  <math>C_i</math>：標準作業量における技術者別各作業区分の外業所要日数の合計  <math>D_i</math>：補正された外業所要日数  <math>S_i</math>：補正された外業延人日数（小数点以下を四捨五入し整数とする。）  <math>i</math>：測量技術者</p>	<p>③ 宿泊を伴う外業所要日数の休日補正の算定            宿泊を伴う外業所要日数の休日補正は、外業に従事する技術者別に次式により算出する。  <math display="block">D_i = C_i + [(C_i - 1) / 5] \times 2</math>           （土曜・日曜を休日とする場合）            ただし、[ ] 内については、小数点以下を切捨て整数とする。  <math display="block">S_i = D_i \times (\text{技術者別編成人員})</math>  <math>C_i</math>：標準作業量における技術者別各作業区分の外業所要日数の合計  <math>D_i</math>：補正された外業所要日数  <math>S_i</math>：補正された外業延人日数（小数点以下を四捨五入し整数とする。）  <math>i</math>：測量技術者</p>

改 正 案						現 行	
<p><u>【計算例】外業が測量主任技師8日、測量技師26日、測量技師補・測量助手各33日、編成人員各1名とした場合</u></p>						<p><u>(移動)</u> ※「参考 旅費交通費等の積算例（滞在時）」より移動</p>	
区 分 i	現行外業 所要日数 C <sub>i</sub>	休 日 補正日数 [(C <sub>i</sub> -1)/5]×2	補正後外業 所要日数 D <sub>i</sub>	外 業 編成人員	補 正 後 延人日数 S <sub>i</sub>		
測量主任技師	8	$\frac{[(8-1)/5] \times 2}{2.8 \div 2}$	2+8=10	1	10×1=10		
測 量 技 師	26	$\frac{[(26-1)/5] \times 2}{10}$	26+10=36	1	36×1=36		
測量技師補	33	$\frac{[(33-1)/5] \times 2}{12.8 \div 12}$	33+12=45	1	45×1=45		
測 量 助 手	33	$\frac{[(33-1)/5] \times 2}{12.8 \div 12}$	33+12=45	1	45×1=45		
<p>④ 旅費交通費の構成</p> <p>旅費交通費 = 交通費 + 宿泊費 + 宿泊手当</p> <p>※ 往復旅行時間にかかる直接人件費は別途計上する。</p> <p>(略)</p>						<p>④ 旅費交通費の構成</p> <p>普通旅費相当分                      滞在日額旅費相当分</p> <p>旅費交通費 = (日当+交通費) + 宿泊料 (1泊) + 宿泊料×必要日数</p> <p>※ 往復旅行時間にかかる直接人件費を計上する場合は、その旨 内容説明書等に明示する。</p> <p>(略)</p>	

改正案			現行		
<p>Ⅲ 標準歩掛</p> <p>1 地域区分の標準は次のとおりとする。</p> <p>地域区分表（略）</p> <p>別図</p>			<p>Ⅲ 標準歩掛</p> <p>1 地域区分の標準は次のとおりとする。</p> <p>地域区分表（略）</p> <p>別図</p>		
別図1 大市街地	別図2 市街地甲	別図3 市街地乙	別図1 大市街地	別図2 市街地甲	別図3 市街地乙
					
別図4 都市近郊	別図5 耕地	別図6 原野	別図4 都市近郊	別図5 耕地	別図6 原野
					
別図7 森林			別図7 森林		
					

改 正 案	現 行																																																																				
<p>2 作業工程の標準歩掛は次表のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(11) 復元測量 (10,000㎡当たり)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="4">人 員</th> <th rowspan="2">標準業務 期 間</th> </tr> <tr> <th>測量技師</th> <th>測量技師補</th> <th>測量助手</th> <th>測量補助員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外 業</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7 日</td> </tr> <tr> <td>内 業</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>—</td> <td>0.5 日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="4">各費目の直接人件費に対する割合</th> </tr> <tr> <th>費 目</th> <th>割 合</th> <th>費 目</th> <th>割 合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械経費</td> <td style="color: red;">4.0 %</td> <td>材料費</td> <td>3.0 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 材料費には、木杭又はプラスチック杭（4.5cm×4.5cm×45cm、34本）が含まれる。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	区 分	人 員				標準業務 期 間	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	外 業	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7 日	内 業	0.5	0.5	0.5	—	0.5 日	各費目の直接人件費に対する割合				費 目	割 合	費 目	割 合	機械経費	4.0 %	材料費	3.0 %	<p>2 作業工程の標準歩掛は次表のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(11) 復元測量 (10,000㎡当たり)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="4">人 員</th> <th rowspan="2">標準業務 期 間</th> </tr> <tr> <th>測量技師</th> <th>測量技師補</th> <th>測量助手</th> <th>測量補助員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外 業</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7</td> <td>1.7 日</td> </tr> <tr> <td>内 業</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>—</td> <td>0.5 日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="4">各費目の直接人件費に対する割合</th> </tr> <tr> <th>費 目</th> <th>割 合</th> <th>費 目</th> <th>割 合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械経費</td> <td style="color: red;">3.5 %</td> <td>材料費</td> <td>3.0 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 材料費には、木杭又はプラスチック杭（4.5cm×4.5cm×45cm、34本）が含まれる。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	区 分	人 員				標準業務 期 間	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	外 業	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7 日	内 業	0.5	0.5	0.5	—	0.5 日	各費目の直接人件費に対する割合				費 目	割 合	費 目	割 合	機械経費	3.5 %	材料費	3.0 %
区 分		人 員					標準業務 期 間																																																														
	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員																																																																	
外 業	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7 日																																																																
内 業	0.5	0.5	0.5	—	0.5 日																																																																
各費目の直接人件費に対する割合																																																																					
費 目	割 合	費 目	割 合																																																																		
機械経費	4.0 %	材料費	3.0 %																																																																		
区 分	人 員				標準業務 期 間																																																																
	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員																																																																	
外 業	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7 日																																																																
内 業	0.5	0.5	0.5	—	0.5 日																																																																
各費目の直接人件費に対する割合																																																																					
費 目	割 合	費 目	割 合																																																																		
機械経費	3.5 %	材料費	3.0 %																																																																		

改 正 案					現 行						
(13) 土地境界確認書作成 (10,000㎡当たり)					(13) 土地境界確認書作成 (10,000㎡当たり)						
区 分	人 員				標準業務期間	区 分	人 員				標準業務期間
	測量技師補		測量助手				測量技師補		測量助手		
外 業	0.8	0.8		0.8 日	外 業	0.8	0.8		0.8 日		
内 業	0.4	0.4		0.4 日	内 業	0.4	0.4		0.4 日		
<p>(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p>					<p>(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p>						
各費目の直接人件費に対する割合					各費目の直接人件費に対する割合						
費 目	割 合	費 目	割 合		費 目	割 合	費 目	割 合			
機械経費	<u>1.0 %</u>	材 料 費	0.5 %		機械経費	<u>1.5 %</u>	材 料 費	0.5 %			
(略)					(略)						
(14) 補助基準点の設置 (10,000㎡当たり)					(14) 補助基準点の設置 (10,000㎡当たり)						
区 分	人 員				標準業務期間	区 分	人 員				標準業務期間
	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員			測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外 業	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8 日	外 業	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8 日
内 業	0.4	0.4	0.4	—	0.4 日	内 業	0.4	0.4	0.4	—	0.4 日
<p>(注1) 10,000㎡当たり標準補助基準点は5点とする。</p>					<p>(注1) 10,000㎡当たり標準補助基準点は5点とする。</p>						

改 正 案	現 行																																												
<p>(注2) 基準点測量又は工事用多角測量により設置された基準点及び中心線測量（法線測量）により設置された中心杭（法線杭）が存する場合は、適正に補正すること。</p> <p>(注3) 支障となる物件がない平坦地を測量する場合には、補助基準点を設置しない。</p> <p>(注4) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p>	<p>(注2) 基準点測量又は工事用多角測量により設置された基準点及び中心線測量（法線測量）により設置された中心杭（法線杭）が存する場合は、適正に補正すること。</p> <p>(注3) 支障となる物件がない平坦地を測量する場合には、補助基準点を設置しない。</p> <p>(注4) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p>																																												
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4">各費目の直接人件費に対する割合</th> </tr> <tr> <th style="width:25%;">費 目</th> <th style="width:12.5%;">割 合</th> <th style="width:25%;">費 目</th> <th style="width:12.5%;">割 合</th> </tr> <tr> <td>機械経費</td> <td style="color: red;">3.5 %</td> <td>材料費</td> <td>3.0 %</td> </tr> </table>	各費目の直接人件費に対する割合				費 目	割 合	費 目	割 合	機械経費	3.5 %	材料費	3.0 %	<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4">各費目の直接人件費に対する割合</th> </tr> <tr> <th style="width:25%;">費 目</th> <th style="width:12.5%;">割 合</th> <th style="width:25%;">費 目</th> <th style="width:12.5%;">割 合</th> </tr> <tr> <td>機械経費</td> <td style="color: red;">3.0 %</td> <td>材料費</td> <td>3.0 %</td> </tr> </table>	各費目の直接人件費に対する割合				費 目	割 合	費 目	割 合	機械経費	3.0 %	材料費	3.0 %																				
各費目の直接人件費に対する割合																																													
費 目	割 合	費 目	割 合																																										
機械経費	3.5 %	材料費	3.0 %																																										
各費目の直接人件費に対する割合																																													
費 目	割 合	費 目	割 合																																										
機械経費	3.0 %	材料費	3.0 %																																										
<p>※ 材料費には、木杭又はプラスチック杭（6.0cm×6.0cm×60cm、10本）が含まれる。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(15) 境界測量 (10,000㎡当たり)</p> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="4">人 員</th> <th rowspan="2">標準業務 期 間</th> </tr> <tr> <th>測量技師</th> <th>測量技師補</th> <th>測量助手</th> <th>測量補助員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外 業</td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>1.4 日</td> </tr> <tr> <td>内 業</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> <td>—</td> <td>0.7 日</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	人 員				標準業務 期 間	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	外 業	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4 日	内 業	0.7	0.7	0.7	—	0.7 日	<p>※ 材料費には、木杭又はプラスチック杭（6.0cm×6.0cm×60cm、10本）が含まれる。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(15) 境界測量 (10,000㎡当たり)</p> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="4">人 員</th> <th rowspan="2">標準業務 期 間</th> </tr> <tr> <th>測量技師</th> <th>測量技師補</th> <th>測量助手</th> <th>測量補助員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外 業</td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>1.4 日</td> </tr> <tr> <td>内 業</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> <td>—</td> <td>0.7 日</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	人 員				標準業務 期 間	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	外 業	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4 日	内 業	0.7	0.7	0.7	—	0.7 日
区 分		人 員					標準業務 期 間																																						
	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員																																									
外 業	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4 日																																								
内 業	0.7	0.7	0.7	—	0.7 日																																								
区 分	人 員				標準業務 期 間																																								
	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員																																									
外 業	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4 日																																								
内 業	0.7	0.7	0.7	—	0.7 日																																								

改 正 案	現 行																																																																				
<p>(注1) 現況測量を除く。 (注2) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">各費目の直接人件費に対する割合</th> </tr> <tr> <th style="width: 25%;">費 目</th> <th style="width: 25%;">割 合</th> <th style="width: 25%;">費 目</th> <th style="width: 25%;">割 合</th> </tr> <tr> <td>機械経費</td> <td style="text-align: center;"><u>3.5 %</u></td> <td>材 料 費</td> <td style="text-align: center;">2.0 %</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(16) 用地境界仮杭設置 <span style="float: right;">(10,000㎡当たり)</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 10%;">区分</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">人 員</th> <th rowspan="2" style="width: 10%;">標準業務 期 間</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">測量技師</th> <th style="width: 15%;">測量技師補</th> <th style="width: 15%;">測量助手</th> <th style="width: 15%;">測量補助員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外業</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">0.8 日</td> </tr> <tr> <td>内業</td> <td style="text-align: center;">0.3</td> <td style="text-align: center;">0.3</td> <td style="text-align: center;">0.3</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">0.3 日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p>	各費目の直接人件費に対する割合				費 目	割 合	費 目	割 合	機械経費	<u>3.5 %</u>	材 料 費	2.0 %	区分	人 員				標準業務 期 間	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	外業	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8 日	内業	0.3	0.3	0.3	—	0.3 日	<p>(注1) 現況測量を除く。 (注2) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">各費目の直接人件費に対する割合</th> </tr> <tr> <th style="width: 25%;">費 目</th> <th style="width: 25%;">割 合</th> <th style="width: 25%;">費 目</th> <th style="width: 25%;">割 合</th> </tr> <tr> <td>機械経費</td> <td style="text-align: center;"><u>3.0 %</u></td> <td>材 料 費</td> <td style="text-align: center;">2.0 %</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(16) 用地境界仮杭設置 <span style="float: right;">(10,000㎡当たり)</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 10%;">区分</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">人 員</th> <th rowspan="2" style="width: 10%;">標準業務 期 間</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">測量技師</th> <th style="width: 15%;">測量技師補</th> <th style="width: 15%;">測量助手</th> <th style="width: 15%;">測量補助員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外業</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">0.8 日</td> </tr> <tr> <td>内業</td> <td style="text-align: center;">0.3</td> <td style="text-align: center;">0.3</td> <td style="text-align: center;">0.3</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">0.3 日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p>	各費目の直接人件費に対する割合				費 目	割 合	費 目	割 合	機械経費	<u>3.0 %</u>	材 料 費	2.0 %	区分	人 員				標準業務 期 間	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	外業	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8 日	内業	0.3	0.3	0.3	—	0.3 日
各費目の直接人件費に対する割合																																																																					
費 目	割 合	費 目	割 合																																																																		
機械経費	<u>3.5 %</u>	材 料 費	2.0 %																																																																		
区分	人 員				標準業務 期 間																																																																
	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員																																																																	
外業	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8 日																																																																
内業	0.3	0.3	0.3	—	0.3 日																																																																
各費目の直接人件費に対する割合																																																																					
費 目	割 合	費 目	割 合																																																																		
機械経費	<u>3.0 %</u>	材 料 費	2.0 %																																																																		
区分	人 員				標準業務 期 間																																																																
	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員																																																																	
外業	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8 日																																																																
内業	0.3	0.3	0.3	—	0.3 日																																																																

改 正 案					現 行				
各費目の直接人件費に対する割合					各費目の直接人件費に対する割合				
費 目	割 合	費 目	割 合		費 目	割 合	費 目	割 合	
機械経費	3.5 %	材 料 費	<u>4.5 %</u>		機械経費	3.5 %	材 料 費	<u>5.0 %</u>	
※ 材料費には、木杭又はプラスチック杭（6.0cm×6.0cm×60cm、24本）が含まれる。					※ 材料費には、木杭又はプラスチック杭（6.0cm×6.0cm×60cm、24本）が含まれる。				
(略)					(略)				
(17) 用地境界杭設置 (10本当たり)					(17) 用地境界杭設置 (10本当たり)				
区 分	人 員			標準業務 期 間	区 分	人 員			標準業務 期 間
	測量技師補	測量助手	測量補助員			測量技師補	測量助手	測量補助員	
外 業	1.2	1.2	1.2	1.2 日	外 業	1.2	1.2	1.2	1.2 日
内 業	0.5	0.5	—	0.5 日	内 業	0.5	0.5	—	0.5 日
(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。					(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。				
各費目の直接人件費に対する割合					各費目の直接人件費に対する割合				
費 目	割 合	費 目	割 合		費 目	割 合	費 目	割 合	
機械経費	<u>5.5 %</u>	材 料 費	<u>23.0 %</u>		機械経費	<u>5.0 %</u>	材 料 費	<u>21.0 %</u>	
※ 材料費には、コンクリート杭又はプラスチック杭（12cm×12cm×					※ 材料費には、コンクリート杭又はプラスチック杭（12cm×12cm×				

改 正 案					現 行				
90cm、9cm×9cm×90cm、10本）が含まれる。					90cm、9cm×9cm×90cm、10本）が含まれる。				
(18) 境界点間測量 (10,000㎡当たり)					(18) 境界点間測量 (10,000㎡当たり)				
区 分	人 員			標準業務 期 間	区 分	人 員			標準業務 期 間
	測量技師	測量技師補	測量助手			測量技師	測量技師補	測量助手	
外 業	1.2	1.2	1.2	1.2 日	外 業	1.2	1.2	1.2	1.2 日
内 業	0.2	0.4	0.4	0.3 日	内 業	0.2	0.4	0.4	0.3 日
<p>(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p>					<p>(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p>				
各費目の直接人件費に対する割合				各費目の直接人件費に対する割合					
費 目	割 合	費 目	割 合	費 目	割 合	費 目	割 合		
機械経費	<u>4.5 %</u>	材 料 費	<u>2.5 %</u>	機械経費	<u>4.0 %</u>	材 料 費	<u>3.0 %</u>		
(略)				(略)					

改 正 案					現 行																												
(21) 用地現況測量（建物等）					(21) 用地現況測量（建物等）																												
(10,000㎡当たり)					(10,000㎡当たり)																												
区分	人 員				標準業務 期 間	区分	人 員				標準業務 期 間																						
	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員			測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員																							
外 業	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6 日	外業	0.6	0.6	0.6	0.6 日																							
内 業	0.3	0.3	0.3	—	0.3 日	内業	0.3	0.3	0.3	—	0.3 日																						
(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。					(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4">各費目の直接人件費に対する割合</th> </tr> <tr> <th>費 目</th> <th>割 合</th> <th>費 目</th> <th>割 合</th> </tr> <tr> <td>機械経費</td> <td style="text-align: center;"><u>3.5 %</u></td> <td>材 料 費</td> <td style="text-align: center;"><u>2.0 %</u></td> </tr> </table>					各費目の直接人件費に対する割合				費 目	割 合	費 目	割 合	機械経費	<u>3.5 %</u>	材 料 費	<u>2.0 %</u>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4">各費目の直接人件費に対する割合</th> </tr> <tr> <th>費 目</th> <th>割 合</th> <th>費 目</th> <th>割 合</th> </tr> <tr> <td>機械経費</td> <td style="text-align: center;"><u>3.0 %</u></td> <td>材 料 費</td> <td style="text-align: center;"><u>2.5 %</u></td> </tr> </table>					各費目の直接人件費に対する割合				費 目	割 合	費 目	割 合	機械経費	<u>3.0 %</u>	材 料 費	<u>2.5 %</u>
各費目の直接人件費に対する割合																																	
費 目	割 合	費 目	割 合																														
機械経費	<u>3.5 %</u>	材 料 費	<u>2.0 %</u>																														
各費目の直接人件費に対する割合																																	
費 目	割 合	費 目	割 合																														
機械経費	<u>3.0 %</u>	材 料 費	<u>2.5 %</u>																														
※ 用地現況測量（建物等）については、公共用地境界確定協議の現況実測平面図作成と測量箇所が重複する場合は、その数量を控除する。					※ 用地現況測量（建物等）については、公共用地境界確定協議の現況実測平面図作成と測量箇所が重複する場合は、その数量を控除する。																												
(略)					(略)																												

改 正 案	現 行																																																												
<p>3 公共用地境界確定手続の標準歩掛</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(2) 現況実測平面図作成 (10,000㎡当たり)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="3">人 員</th> <th rowspan="2">標準業務 期 間</th> </tr> <tr> <th>測量技師</th> <th>測量技師補</th> <th>測量助手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外 業</td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>1.2 日</td> </tr> <tr> <td>内 業</td> <td>0.4</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> <td>0.6 日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="4">各費目の直接人件費に対する割合</th> </tr> <tr> <th>費 目</th> <th>割 合</th> <th>費 目</th> <th>割 合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械経費</td> <td style="color: red;">4.0 %</td> <td>材 料 費</td> <td>2.5 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 材料費には、ポリエステルシート（＃300 0.9m×20m）が含まれる。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	区 分	人 員			標準業務 期 間	測量技師	測量技師補	測量助手	外 業	1.2	1.2	1.2	1.2 日	内 業	0.4	0.7	0.7	0.6 日	各費目の直接人件費に対する割合				費 目	割 合	費 目	割 合	機械経費	4.0 %	材 料 費	2.5 %	<p>3 公共用地境界確定手続の標準歩掛</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(2) 現況実測平面図作成 (10,000㎡当たり)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th colspan="3">人 員</th> <th rowspan="2">標準業務 期 間</th> </tr> <tr> <th>測量技師</th> <th>測量技師補</th> <th>測量助手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外 業</td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>1.2 日</td> </tr> <tr> <td>内 業</td> <td>0.4</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> <td>0.6 日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="4">各費目の直接人件費に対する割合</th> </tr> <tr> <th>費 目</th> <th>割 合</th> <th>費 目</th> <th>割 合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械経費</td> <td style="color: red;">3.5 %</td> <td>材 料 費</td> <td>2.5 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 材料費には、ポリエステルシート（＃300 0.9m×20m）が含まれる。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	区 分	人 員			標準業務 期 間	測量技師	測量技師補	測量助手	外 業	1.2	1.2	1.2	1.2 日	内 業	0.4	0.7	0.7	0.6 日	各費目の直接人件費に対する割合				費 目	割 合	費 目	割 合	機械経費	3.5 %	材 料 費	2.5 %
区 分		人 員				標準業務 期 間																																																							
	測量技師	測量技師補	測量助手																																																										
外 業	1.2	1.2	1.2	1.2 日																																																									
内 業	0.4	0.7	0.7	0.6 日																																																									
各費目の直接人件費に対する割合																																																													
費 目	割 合	費 目	割 合																																																										
機械経費	4.0 %	材 料 費	2.5 %																																																										
区 分	人 員			標準業務 期 間																																																									
	測量技師	測量技師補	測量助手																																																										
外 業	1.2	1.2	1.2	1.2 日																																																									
内 業	0.4	0.7	0.7	0.6 日																																																									
各費目の直接人件費に対する割合																																																													
費 目	割 合	費 目	割 合																																																										
機械経費	3.5 %	材 料 費	2.5 %																																																										

改 正 案					現 行						
(3) 横断面図作成 (1km当たり)					(3) 横断面図作成 (1km当たり)						
区分	人 員				標準業務 期 間	区分	人 員				標準業務 期 間
	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員			測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員	
外 業	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5 日	外業	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5 日
内 業	—	3.0	3.7	—	3.3 日	内業	—	3.0	3.7	—	3.3 日
<p>(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p>						<p>(注) 本歩掛には、関係機関協議資料作成及び関係機関打合せ協議に係る作業時間も含む。</p>					
各費目の直接人件費に対する割合				各費目の直接人件費に対する割合							
費 目	割 合	費 目	割 合	費 目	割 合	費 目	割 合	費 目	割 合		
機械経費	<u>3.0 %</u>	材 料 費	1.5 %	機械経費	<u>2.5 %</u>	材 料 費	1.5 %				
<p>※ 材料費には、ポリエステルシート（#300 0.9m×20m）が含まれる。</p>				<p>※ 材料費には、ポリエステルシート（#300 0.9m×20m）が含まれる。</p>							
(略)				(略)							

改正案	現行																																																			
<p><u>(削る。)</u></p>	<p><u>参 考</u></p> <p style="text-align: center;"><u>旅費交通費等の積算例（滞在時）</u></p> <p><u>1 15日までの旅費（技術者単価は、令和6年度単価を用いている。）</u></p> <p><u>(1) 積算条件業務内容：測量業務</u></p> <p>業務内容：測量業務</p> <p>積算上の基地～現地までの距離：190km</p> <table border="1" data-bbox="1256 692 1711 874"> <thead> <tr> <th>職種区分</th> <th>編成</th> <th>外業延 所要日数</th> <th>宿泊 日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測量技師</td> <td><u>1</u></td> <td><u>3</u></td> <td><u>3</u></td> </tr> <tr> <td>測量技師補</td> <td><u>2</u></td> <td><u>3</u></td> <td><u>3</u></td> </tr> <tr> <td>測量助手</td> <td><u>2</u></td> <td><u>3</u></td> <td><u>3</u></td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>(工 程)</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="border: none;"> </td> <td style="border: none;">旅行</td> <td style="border: none;"> </td> <td colspan="3" style="border: none;">外業3日</td> <td style="border: none;"> </td> <td style="border: none;">旅行</td> <td style="border: none;"> </td> </tr> <tr> <td style="border: none;">(往路)</td> <td style="border: none;">0.5</td> <td style="border: none;">日</td> <td style="border: none;">0.5</td> <td style="border: none;">日</td> <td style="border: none;">1.0</td> <td style="border: none;">日</td> <td style="border: none;">1.0</td> <td style="border: none;">日</td> <td style="border: none;">0.5</td> <td style="border: none;">日</td> <td style="border: none;">0.5</td> <td style="border: none;">日</td> <td style="border: none;">(復路)</td> </tr> </table> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0 (往路) (復路)</p> </div> </div> <p><u>(2) 交通費・日当・宿泊料</u></p> <table style="margin-left: 40px; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: right;">鉄道運賃（片道）</td> <td style="text-align: right;">普通運賃</td> <td style="text-align: right;">3,350円×</td> <td style="text-align: right;"><math>\frac{100}{110}</math></td> <td style="text-align: right;">=3,045円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="text-align: right; vertical-align: middle;">5,481円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">特急料金</td> <td style="text-align: right;">2,680円×</td> <td style="text-align: right;"><math>\frac{100}{110}</math></td> <td style="text-align: right;">=2,436円</td> </tr> </table>	職種区分	編成	外業延 所要日数	宿泊 日数	測量技師	<u>1</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	測量技師補	<u>2</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	測量助手	<u>2</u>	<u>3</u>	<u>3</u>		旅行		外業3日				旅行		(往路)	0.5	日	0.5	日	1.0	日	1.0	日	0.5	日	0.5	日	(復路)	鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,350円×	$\frac{100}{110}$	=3,045円	}	5,481円		特急料金	2,680円×	$\frac{100}{110}$	=2,436円
職種区分	編成	外業延 所要日数	宿泊 日数																																																	
測量技師	<u>1</u>	<u>3</u>	<u>3</u>																																																	
測量技師補	<u>2</u>	<u>3</u>	<u>3</u>																																																	
測量助手	<u>2</u>	<u>3</u>	<u>3</u>																																																	
	旅行		外業3日				旅行																																													
(往路)	0.5	日	0.5	日	1.0	日	1.0	日	0.5	日	0.5	日	(復路)																																							
鉄道運賃（片道）	普通運賃	3,350円×	$\frac{100}{110}$	=3,045円	}	5,481円																																														
	特急料金	2,680円×	$\frac{100}{110}$	=2,436円																																																

改正案	現 行																																																																																											
<p><u>(削る。)</u></p>	<p><u>日当・宿泊料一覧表</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">職 種</th> <th rowspan="3">日 当</th> <th colspan="4">宿 泊 料</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">普通旅費</th> <th colspan="3">滞在日額旅費</th> </tr> <tr> <th>30日未満</th> <th>30日以上 60日未満</th> <th>60日以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測 量 技 師</td> <td><u>2,000</u> <u>(1,000)</u></td> <td><u>8,909</u></td> <td><u>8,354</u></td> <td><u>7,509</u></td> <td><u>6,681</u></td> </tr> <tr> <td>測量技師補</td> <td><u>1,545</u></td> <td rowspan="2"><u>7,090</u></td> <td rowspan="2"><u>6,736</u></td> <td rowspan="2"><u>6,063</u></td> <td rowspan="2"><u>5,390</u></td> </tr> <tr> <td>測 量 助 手</td> <td><u>(772)</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>※日当を計上する場合は、2分の1日当を原則とする。( ) 内適用。                  ※上表中の日当及び宿泊料は、消費税相当額を除いた額である。</p> <p><u>(3) 旅費交通費</u></p> <table style="width: 100%; text-align: center; margin-top: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">普通旅費相当分</th> <th colspan="2">滞在日額旅費相当分</th> </tr> <tr> <th>日当</th> <th>日数</th> <th>交通費</th> <th>往復</th> <th>宿泊料</th> <th>宿泊料 日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測 量 技 師</td> <td>=</td> <td>1,000</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+</td> <td>5,481</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+</td> <td>8,909</td> <td>+</td> <td>8,354</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>=</td> <td>38,579円</td> </tr> <tr> <td>測 量 技 師 補</td> <td>=</td> <td>772</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+</td> <td>5,481</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+</td> <td>7,090</td> <td>+</td> <td>6,736</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>=</td> <td>33,068円</td> </tr> <tr> <td>測 量 助 手</td> <td>=</td> <td>772</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+</td> <td>5,481</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>+</td> <td>7,090</td> <td>+</td> <td>6,736</td> <td>×</td> <td>2</td> <td>=</td> <td>33,068円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 20px;"><u>旅費交通費計 = 38,579 × 1 + 33,068 × 2 + 33,068 × 2 = 170,851円</u></p>	職 種	日 当	宿 泊 料				普通旅費	滞在日額旅費			30日未満	30日以上 60日未満	60日以上	測 量 技 師	<u>2,000</u> <u>(1,000)</u>	<u>8,909</u>	<u>8,354</u>	<u>7,509</u>	<u>6,681</u>	測量技師補	<u>1,545</u>	<u>7,090</u>	<u>6,736</u>	<u>6,063</u>	<u>5,390</u>	測 量 助 手	<u>(772)</u>		普通旅費相当分				滞在日額旅費相当分		日当	日数	交通費	往復	宿泊料	宿泊料 日数	測 量 技 師	=	1,000	×	2	+	5,481	×	2	+	8,909	+	8,354	×	2	=	38,579円	測 量 技 師 補	=	772	×	2	+	5,481	×	2	+	7,090	+	6,736	×	2	=	33,068円	測 量 助 手	=	772	×	2	+	5,481	×	2	+	7,090	+	6,736	×	2	=	33,068円
職 種	日 当			宿 泊 料																																																																																								
				普通旅費	滞在日額旅費																																																																																							
		30日未満	30日以上 60日未満		60日以上																																																																																							
測 量 技 師	<u>2,000</u> <u>(1,000)</u>	<u>8,909</u>	<u>8,354</u>	<u>7,509</u>	<u>6,681</u>																																																																																							
測量技師補	<u>1,545</u>	<u>7,090</u>	<u>6,736</u>	<u>6,063</u>	<u>5,390</u>																																																																																							
測 量 助 手	<u>(772)</u>																																																																																											
	普通旅費相当分				滞在日額旅費相当分																																																																																							
	日当	日数	交通費	往復	宿泊料	宿泊料 日数																																																																																						
測 量 技 師	=	1,000	×	2	+	5,481	×	2	+	8,909	+	8,354	×	2	=	38,579円																																																																												
測 量 技 師 補	=	772	×	2	+	5,481	×	2	+	7,090	+	6,736	×	2	=	33,068円																																																																												
測 量 助 手	=	772	×	2	+	5,481	×	2	+	7,090	+	6,736	×	2	=	33,068円																																																																												

改 正 案	現 行																												
<p><u>(削る。)</u></p>	<p><u>(4) 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</u></p> <p style="text-align: center;"><u>基準日額 移動日数</u></p> <p><u>測量技師 = 47,100 × 1 = 47,100円</u></p> <p><u>測量技師補 = 36,900 × 1 = 36,900円</u></p> <p><u>測量助手 = 34,600 × 1 = 34,600円</u></p> <p><u>往復旅行時間にかかる直接人件費計=47,100×1+36,900×2+34,600×2</u> <u>=190,100円</u></p> <p><u>2 15日を超える旅費（技術者単価は、令和6年度単価を用いている。）</u></p> <p><u>(1) 積算条件</u></p> <p>業務内容：測量業務</p> <p>積算上の基地～現地までの距離：190km</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>職種区分</th> <th>編成</th> <th>外業延 所要日数</th> <th>宿泊 日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測量技師</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">35</td> <td style="text-align: center;">35</td> </tr> <tr> <td>測量技師補</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">45</td> </tr> <tr> <td>測量助手</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">45</td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-left: auto; margin-right: auto; text-align: center;"> <p>(工 程)</p> <p>移動日数 0.5日+0.5日=1.0 (往路) (復路)</p> </div> <p><u>(2) 交通費・日当・宿泊料</u></p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: right;"><u>鉄道運賃（片道）</u></td> <td style="text-align: center;">普通運賃</td> <td style="text-align: right;">3,750円×</td> <td style="text-align: center;"><math>\frac{100}{110}</math></td> <td style="text-align: right;">=3,409円</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="text-align: right; vertical-align: middle;"><u>5,890円</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">特急料金</td> <td style="text-align: right;">2,730円×</td> <td style="text-align: center;"><math>\frac{100}{110}</math></td> <td style="text-align: right;">=2,481円</td> </tr> </table> <p><u>日当・宿泊料は、1(2)「日当・宿泊料一覧表」を参照。</u></p>	職種区分	編成	外業延 所要日数	宿泊 日数	測量技師	1	35	35	測量技師補	2	45	45	測量助手	2	45	45	<u>鉄道運賃（片道）</u>	普通運賃	3,750円×	$\frac{100}{110}$	=3,409円	}	<u>5,890円</u>		特急料金	2,730円×	$\frac{100}{110}$	=2,481円
職種区分	編成	外業延 所要日数	宿泊 日数																										
測量技師	1	35	35																										
測量技師補	2	45	45																										
測量助手	2	45	45																										
<u>鉄道運賃（片道）</u>	普通運賃	3,750円×	$\frac{100}{110}$	=3,409円	}	<u>5,890円</u>																							
	特急料金	2,730円×	$\frac{100}{110}$	=2,481円																									

改正案	現行										
<p><u>(削る。)</u></p>	<p><u>(3) 旅費交通費</u></p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">普通旅費相当分</td> <td style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">滞在日額旅費相当分</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">日当 日数 交通費</td> <td style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">往復 宿泊料 宿泊料 日数 宿泊料 日数</td> </tr> </table> <p>測量技師 = <math>1,000 \times 2 + 5,890 \times 2 + 8,909 + 8,354 \times 29 + 7,509 \times 5</math>  <math>= 302,500</math>円</p> <p>測量技師補 = <math>772 \times 2 + 5,890 \times 2 + 7,090 + 6,736 \times 29 + 6,063 \times 15</math>  <math>= 306,703</math>円</p> <p>測量助手 = <math>772 \times 2 + 5,890 \times 2 + 7,090 + 6,736 \times 29 + 6,063 \times 15</math>  <math>= 306,703</math>円</p> <p>旅費交通費計 = <math>302,500 \times 1 + 306,703 \times 1 + 306,703 \times 2 = 1,222,609</math>円</p> <p><u>(4) 往復旅行時間にかかる直接人件費（参考）</u></p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">基準日額</td> <td style="text-align: center; border-bottom: 1px solid black;">移動日数</td> <td></td> </tr> </table> <p>測量技師 = <math>47,100 \times 1 = 47,100</math>円      測量技師補 = <math>36,900 \times 1 = 36,900</math>円      測量助手 = <math>34,600 \times 1 = 34,600</math>円</p> <p>往復旅行時間にかかる直接人件費計 = <math>47,100 \times 1 + 36,900 \times 1 + 34,600 \times 2</math>  <math>= 153,200</math>円</p>		普通旅費相当分	滞在日額旅費相当分		日当 日数 交通費	往復 宿泊料 宿泊料 日数 宿泊料 日数		基準日額	移動日数	
	普通旅費相当分	滞在日額旅費相当分									
	日当 日数 交通費	往復 宿泊料 宿泊料 日数 宿泊料 日数									
	基準日額	移動日数									

改 正 案	現 行																														
<p><u>(移動)</u>                      ※Ⅱ業務費 2業務費の内容 (1)調査測量業務価格 ア直接調査測量費                      (エ)直接経費 (a)-3旅費交通費の率を用いない積算 ③宿泊を伴う外業所要日数の休日補正の算定 →移動</p>	<p><u>3 宿泊を伴う外業所要日数の休日補正</u>                      【計算例】外業が測量主任技師8日、測量技師26日、測量技師補・測量助手各33日、                      編成人員各1名とした場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分 <u>i</u></th> <th style="text-align: center;">現行外業 所要日数 <u>C<sub>i</sub></u></th> <th style="text-align: center;">休 日 補正日数 <math>[(C_i - 1) / 5] \times 2</math></th> <th style="text-align: center;">補正後外業 所要日数 <u>D<sub>i</sub></u></th> <th style="text-align: center;">外 業 編成人員</th> <th style="text-align: center;">補 正 後 延日数 <u>S<sub>i</sub></u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">測量主任技師</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;"><math>[(8-1)/5] \times 2 =</math> 2.8≒2</td> <td style="text-align: center;">2+8=10</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">10×1=10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">測 量 技 師</td> <td style="text-align: center;">26</td> <td style="text-align: center;"><math>[(26-1)/5] \times 2 =</math> 10</td> <td style="text-align: center;">26+10=36</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">36×1=36</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">測 量 技 師 補</td> <td style="text-align: center;">33</td> <td style="text-align: center;"><math>[(33-1)/5] \times 2 =</math> 12.8≒12</td> <td style="text-align: center;">33+12=45</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">45×1=45</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">測 量 助 手</td> <td style="text-align: center;">33</td> <td style="text-align: center;"><math>[(33-1)/5] \times 2 =</math> 12.8≒12</td> <td style="text-align: center;">33+12=45</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">45×1=45</td> </tr> </tbody> </table>	区 分 <u>i</u>	現行外業 所要日数 <u>C<sub>i</sub></u>	休 日 補正日数 $[(C_i - 1) / 5] \times 2$	補正後外業 所要日数 <u>D<sub>i</sub></u>	外 業 編成人員	補 正 後 延日数 <u>S<sub>i</sub></u>	測量主任技師	8	$[(8-1)/5] \times 2 =$ 2.8≒2	2+8=10	1	10×1=10	測 量 技 師	26	$[(26-1)/5] \times 2 =$ 10	26+10=36	1	36×1=36	測 量 技 師 補	33	$[(33-1)/5] \times 2 =$ 12.8≒12	33+12=45	1	45×1=45	測 量 助 手	33	$[(33-1)/5] \times 2 =$ 12.8≒12	33+12=45	1	45×1=45
区 分 <u>i</u>	現行外業 所要日数 <u>C<sub>i</sub></u>	休 日 補正日数 $[(C_i - 1) / 5] \times 2$	補正後外業 所要日数 <u>D<sub>i</sub></u>	外 業 編成人員	補 正 後 延日数 <u>S<sub>i</sub></u>																										
測量主任技師	8	$[(8-1)/5] \times 2 =$ 2.8≒2	2+8=10	1	10×1=10																										
測 量 技 師	26	$[(26-1)/5] \times 2 =$ 10	26+10=36	1	36×1=36																										
測 量 技 師 補	33	$[(33-1)/5] \times 2 =$ 12.8≒12	33+12=45	1	45×1=45																										
測 量 助 手	33	$[(33-1)/5] \times 2 =$ 12.8≒12	33+12=45	1	45×1=45																										

改正案	現行		
<p>(略)</p> <p>第3 業務費の内容及び積算</p> <p>1 直接原価 (略)</p> <p>(1) 直接人件費 (略)</p> <p>(2) 直接経費</p> <p>ア (略)</p> <p>イ 旅費交通費 (略)</p> <p>イ-1 (略)</p> <p>イ-2 旅費交通費の率を用いた積算（宿泊、滞在を伴う業務の場合）</p> <p>(ア) (略)</p> <p>(イ) 率を用いた場合の<u>宿泊費・宿泊手当</u>の積算</p> <p><u>(a) 宿泊費</u></p> <p><u>宿泊費は旅行中の宿泊に要する費用とし、その額は地域の実情を勘案して定める宿泊費基準額（税抜き）（下記表を参照）と現に支払った額（税抜き）を比較し、いずれか少ない額とする。</u></p> <p><u>(削る。)</u></p>	<p>(略)</p> <p>第3 業務費の内容及び積算</p> <p>1 直接原価 (略)</p> <p>(1) 直接人件費 (略)</p> <p>(2) 直接経費</p> <p>ア (略)</p> <p>イ 旅費交通費 (略)</p> <p>イ-1 (略)</p> <p>イ-2 旅費交通費の率を用いた積算（宿泊、滞在を伴う業務の場合）</p> <p>(ア) (略)</p> <p>(イ) 率を用いた場合の<u>日当・宿泊料</u>の積算</p> <p><u>業務に対して定められた係数（下記表を参照）に延べ宿泊日数及び滞在日数を乗じた額を、日当・宿泊料として積算すること。</u></p> <p><u>往復旅行時間にかかる直接人件費については、別途計上する。</u></p> <p><u>同一業務の中で、複数業務の積算を行う場合は、それぞれの業務の率を用いて算出すること。</u></p> <table border="1" data-bbox="1435 1182 1816 1283"> <tr> <td><u>日当・宿泊料（千円）</u></td> </tr> <tr> <td><u>6.1X</u></td> </tr> </table> <p><u>X：延べ宿泊日数及び滞在日数（休日補正日数は除く）</u></p>	<u>日当・宿泊料（千円）</u>	<u>6.1X</u>
<u>日当・宿泊料（千円）</u>			
<u>6.1X</u>			

改 正 案				現 行	
<u>宿泊費基準額（円・税抜き）（一夜につき）</u>				<u>（新設）</u>	
<u>区分</u>	<u>宿泊費基準額 （一夜につき）</u>	<u>区分</u>	<u>宿泊費基準額 （一夜につき）</u>		
北海道	11,818	滋賀県	10,000		
青森県	10,000	京都府	17,272		
岩手県	8,181	大阪府	11,818		
宮城県	9,090	兵庫県	10,909		
秋田県	10,000	奈良県	10,000		
山形県	9,090	和歌山県	10,000		
福島県	7,272	鳥取県	7,272		
茨城県	10,000	島根県	8,181		
栃木県	9,090	岡山県	9,090		
群馬県	9,090	広島県	11,818		
埼玉県	17,272	山口県	7,272		
千葉県	15,454	徳島県	9,090		
東京都	17,272	香川県	13,636		
神奈川県	14,545	愛媛県	9,090		
新潟県	14,545	高知県	10,000		
富山県	10,000	福岡県	16,363		
石川県	8,181	佐賀県	10,000		
福井県	9,090	長崎県	10,000		
山梨県	10,909	熊本県	12,727		
長野県	10,000	大分県	10,000		
岐阜県	11,818	宮崎県	10,909		
静岡県	8,181	鹿児島県	10,909		
愛知県	10,000	沖縄県	10,000		
三重県	8,181				
<u>(b) 宿泊手当</u>				<u>（新設）</u>	
<u>宿泊手当は、宿泊を伴う旅行に必要な諸雑費に充てるための費用とし、その額は、通常要する費用の額を勘案して定める一夜当たりの定額2,181円（国内一律、税抜き）とする。</u>					

改 正 案	現 行
<p>(ウ) (略)</p> <p>イ-3 旅費交通費の率を用いない積算</p> <p>(ア) 通勤及び宿泊・滞在の区分</p> <p>(a) (略)</p> <p>(b) 現地に滞在して業務を行う場合                  上記(a)の範囲を超え、現地に滞在して業務を実施する必要がある場合は、<u>(イ) 旅費交通費の取扱い</u> で定める<u>宿泊費及び宿泊手当</u>を適用するものとする。</p> <p>また、滞在地から現地までの連絡車（ライトバン）運転にかかる費用は、通勤による場合と同様とする。</p> <p>(イ) 旅費交通費の取扱い  <u>(削る。)</u></p> <p><u>(a) 鉄道__賃等</u></p> <p>① 鉄道__賃等については、その乗車に要する運賃<u>(特急料金等を含む)</u>を計上する。</p> <p>② 複数の経路がある場合、<u>以下ア)～ウ)のいずれかに該当する経路の鉄道賃等を計上することができる。</u></p> <p style="padding-left: 20px;">ア) 最も安価な経路</p> <p style="padding-left: 20px;">イ) 最も安価な経路に比べて、移動時間の短縮が可能である</p>	<p>(ウ) (略)</p> <p>イ-3 旅費交通費の率を用いない積算</p> <p>(ア) 通勤及び宿泊・滞在の区分</p> <p>(a) (略)</p> <p>(b) 現地に滞在して業務を行う場合                  上記(a)の範囲を超え、現地に滞在して業務を実施する必要がある場合は、<u>役務関係技術者賃金表の技術者等の日当・宿泊料の項</u>を適用するものとする。</p> <p>また、滞在地から現地までの連絡車（ライトバン）運転にかかる費用は、通勤による場合と同様とする。</p> <p>(イ) 旅費交通費の取扱い</p> <p><u>(a) 旅費交通費の積算において、普通日額旅費については、積算上計算しないものとする。</u></p> <p><u>(b) 鉄道運賃等</u></p> <p>① 鉄道<u>運賃</u>等については、その乗車に要する運賃_____を計上する。</p> <p>② 複数の路線がある場合は、<u>安い方の運賃を計上する。</u></p>

改正案	現 行
<p><u>経路</u></p> <p><u>り) 最も安価な経路に比べて、乗換回数が少ない等、交通の遅延等による経路変更や取消・変更料の発生の危険性が低い経路</u></p> <p><u>え) 最も安価な経路が航空機を用いない経路である場合において、最も安価な経路によると出発地から用務先までの旅行時間に4時間程度以上を要するときの、航空機を用いる経路</u></p> <p><u>わ) 最も安価な経路では日帰りができない場合において、日帰りが可能となる経路</u></p> <p><u>(削る。)</u></p> <p><u>(b) 宿泊費</u>  <u>宿泊費については、イ-2 (イ) (a) 宿泊費のとおりとする。</u></p> <p><u>(c) 宿泊手当</u>  <u>宿泊手当については、イ-2 (イ) (b) 宿泊手当のとおりとする。</u></p>	<p><u>③ 特急料金等については、次により計上するものとする。</u></p> <p><u>ア) 特急列車を運行している区間については、片道100km以上（乗車可能区間）であれば、特急料金を計上する。</u></p> <p><u>イ) 急行列車を運行している区間については、片道50km以上（乗車可能区間）であれば、急行料金を計上する。</u></p> <p><u>(c) 宿泊料</u>  <u>宿泊料は、役務関係技術者賃金表による。</u></p> <p><u>(d) 日当</u>  <u>日当は、役務関係技術者賃金表による。</u>  <u>日当は、宿泊を伴う場合で、積算上の基地から目的地への往復に要した日数について計上する。</u>  <u>計上する日当については、2分の1日当を原則とする。</u></p>

改 正 案						現 行					
<p>(ウ) 宿泊を伴う外業所要日数の休日補正の算定</p> <p>宿泊を伴う外業所要日数の休日補正は、外業に従事する技術者別に次式により算出する。</p> $D_i = C_i + [(C_i - 1) / 5] \times 2$ <p>（土曜・日曜を休日とする場合）</p> <p>ただし、[ ] 内については、小数点以下を切捨て整数とする。</p> $S_i = D_i \times (\text{技術者別編成人員})$ <p><math>C_i</math>：標準作業量における技術者別各作業区分の外業所要日数の合計  <math>D_i</math>：補正された外業所要日数  <math>S_i</math>：補正された外業延人日数（小数点以下を四捨五入し整数とする。）  <math>i</math>：設計技術者</p>						<p>(ウ) 宿泊を伴う外業所要日数の休日補正の算定</p> <p>宿泊を伴う外業所要日数の休日補正は、外業に従事する技術者別に次式により算出する。</p> $D_i = C_i + [(C_i - 1) / 5] \times 2$ <p>（土曜・日曜を休日とする場合）</p> <p>ただし、[ ] 内については、小数点以下を切捨て整数とする。</p> $S_i = D_i \times (\text{技術者別編成人員})$ <p><math>C_i</math>：標準作業量における技術者別各作業区分の外業所要日数の合計  <math>D_i</math>：補正された外業所要日数  <math>S_i</math>：補正された外業延人日数（小数点以下を四捨五入し整数とする。）  <math>i</math>：設計技術者</p>					
(新設)											
区 分	現行外業 所要日数	休 日 補正日数	補正後外業 所要日数	外 業 編成人員	補 正 後 延人日数						
$i$	$C_i$	$[(C_i - 1) / 5] \times 2$	$D_i$		$S_i$						
測量主任技師	8	$[(8-1)/5] \times 2 = 2.8 \div 2$	$2+8=10$	1	$10 \times 1 = 10$						
測 量 技 師	26	$[(26-1)/5] \times 2 = 10$	$26+10=36$	1	$36 \times 1 = 36$						
測量技師補	33	$[(33-1)/5] \times 2 = 12.8 \div 12$	$33+12=45$	1	$45 \times 1 = 45$						
測 量 助 手	33	$[(33-1)/5] \times 2 = 12.8 \div 12$	$33+12=45$	1	$45 \times 1 = 45$						

改正案	現行
<p>(エ) 旅費交通費の構成</p> <p><u>旅費交通費 = 交通費 + 宿泊費 + 宿泊手当</u></p> <p><u>※ 往復旅行時間にかかる直接人件費は別途計上する。</u></p> <p><u>(削る。)</u></p> <p>(略)</p>	<p>(エ) 旅費交通費の構成</p> <p style="text-align: center;"> <math display="block">\text{旅費交通費} = \underbrace{(\text{日当} + \text{交通費})}_{\text{普通旅費相当分}} + \underbrace{\text{宿泊料 (1泊)} + \text{宿泊料} \times \text{必要日数}}_{\text{滞在日額旅費相当分}}</math> </p> <p><u>※ 往復旅行時間にかかる直接人件費を計上する場合は、その旨内容説明書等に明示する。</u></p> <p>(オ) 旅費交通費積算例</p> <p><u>土地調査測量積算要領の旅費交通費等の積算例（滞在時）を参考に積算するものとする。</u></p> <p>(略)</p>

改 正 案	現 行																																				
(別添1) 国土交通省用地調査等業務費積算基準 (令和7年11月時点)	(別添1) 国土交通省用地調査等業務費積算基準 (令和6年8月時点)																																				
(略)	(略)																																				
<b>第12 土地評価</b>	<b>第12 土地評価</b>																																				
(略)	(略)																																				
<b>1 打合せ協議</b> (略) <b>2 現地踏査</b> 現地踏査の費用内容及び取扱いは、第6建物等の調査 3 現地踏査に準ずるものとし、これに要する直接人件費の積算は、表12-1により行うものとする。	<b>1 打合せ協議</b> (略) <b>2 現地踏査</b> 現地踏査の費用内容及び取扱いは、第6建物等の調査 3 現地踏査に準ずるものとし、これに要する直接人件費の積算は、表12-1により行うものとする。																																				
表12-1	表12-1																																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>単位</th> <th>規模</th> <th>職種</th> <th>外業</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">現地踏査</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">業 務</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">—</td> <td>主任技師</td> <td style="text-align: center;"><u>0.56人</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師 A</td> <td style="text-align: center;"><u>0.56人</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師 C</td> <td style="text-align: center;"><u>0.56人</u></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種目	単位	規模	職種	外業	備考	現地踏査	業 務	—	主任技師	<u>0.56人</u>		技師 A	<u>0.56人</u>		技師 C	<u>0.56人</u>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>単位</th> <th>規模</th> <th>職種</th> <th>外業</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">現地踏査</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">業 務</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">—</td> <td>主任技師</td> <td style="text-align: center;"><u>0.54人</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師 A</td> <td style="text-align: center;"><u>0.54人</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師 C</td> <td style="text-align: center;"><u>0.54人</u></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種目	単位	規模	職種	外業	備考	現地踏査	業 務	—	主任技師	<u>0.54人</u>		技師 A	<u>0.54人</u>		技師 C	<u>0.54人</u>	
種目	単位	規模	職種	外業	備考																																
現地踏査	業 務	—	主任技師	<u>0.56人</u>																																	
			技師 A	<u>0.56人</u>																																	
			技師 C	<u>0.56人</u>																																	
種目	単位	規模	職種	外業	備考																																
現地踏査	業 務	—	主任技師	<u>0.54人</u>																																	
			技師 A	<u>0.54人</u>																																	
			技師 C	<u>0.54人</u>																																	
<b>3 土地評価</b> (略)	<b>3 土地評価</b> (略)																																				

改 正 案	現 行																																																																								
<p><b>4 地域区分及び標準地選定等業務</b></p> <p>地域区分及び標準地選定等業務は、業務の対象となる地域の現地調査、用途的地域の区分検討、同一状況地域区分検討、取引事例地等検証、標準地選定条件決定等を行うものとし、これに要する直接人件費の積算は、表12-2により行うものとする。</p> <p style="text-align: right;">表12-2</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>単位</th> <th>規模</th> <th>職種</th> <th>外業</th> <th>内業</th> <th>計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">地域区分及び 標準地選定等業務</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">業 務</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">2～3 区分</td> <td>主任技師</td> <td style="text-align: center;"><u>0.92</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1.76</u></td> <td style="text-align: center;"><u>2.68人</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師 A</td> <td style="text-align: center;"><u>3.55</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1.24</u></td> <td style="text-align: center;"><u>4.79人</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師 C</td> <td style="text-align: center;"><u>3.55</u></td> <td style="text-align: center;"><u>4.44</u></td> <td style="text-align: center;"><u>7.99人</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師 D</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;"><u>0.39</u></td> <td style="text-align: center;"><u>0.39人</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注 1～2 （略）</p> <p><b>5 標準地価格の算定業務</b></p> <p>標準地価格の算定業務は、価格案の検討、鑑定評価との突合、公示価格規準、価格バランス検討等を行うものとし、これに要する直接人件費の積算は、表12-4により行うものとする。</p>	種目	単位	規模	職種	外業	内業	計	備考	地域区分及び 標準地選定等業務	業 務	2～3 区分	主任技師	<u>0.92</u>	<u>1.76</u>	<u>2.68人</u>		技師 A	<u>3.55</u>	<u>1.24</u>	<u>4.79人</u>		技師 C	<u>3.55</u>	<u>4.44</u>	<u>7.99人</u>		技師 D	—	<u>0.39</u>	<u>0.39人</u>							<p><b>4 地域区分及び標準地選定等業務</b></p> <p>地域区分及び標準地選定等業務は、業務の対象となる地域の現地調査、用途的地域の区分検討、同一状況地域区分検討、取引事例地等検証、標準地選定条件決定等を行うものとし、これに要する直接人件費の積算は、表12-2により行うものとする。</p> <p style="text-align: right;">表12-2</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>単位</th> <th>規模</th> <th>職種</th> <th>外業</th> <th>内業</th> <th>計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">地域区分及び 標準地選定等業務</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">業 務</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">2～3 区分</td> <td>主任技師</td> <td style="text-align: center;"><u>0.58</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1.34</u></td> <td style="text-align: center;"><u>1.92人</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師 A</td> <td style="text-align: center;"><u>4.11</u></td> <td style="text-align: center;"><u>0.90</u></td> <td style="text-align: center;"><u>5.01人</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師 C</td> <td style="text-align: center;"><u>4.11</u></td> <td style="text-align: center;"><u>3.78</u></td> <td style="text-align: center;"><u>7.89人</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>技師 D</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;"><u>0.28</u></td> <td style="text-align: center;"><u>0.28人</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注 1～2 （略）</p> <p><b>5 標準地価格の算定業務</b></p> <p>標準地価格の算定業務は、価格案の検討、鑑定評価との突合、公示価格規準、価格バランス検討等を行うものとし、これに要する直接人件費の積算は、表12-4により行うものとする。</p>	種目	単位	規模	職種	外業	内業	計	備考	地域区分及び 標準地選定等業務	業 務	2～3 区分	主任技師	<u>0.58</u>	<u>1.34</u>	<u>1.92人</u>		技師 A	<u>4.11</u>	<u>0.90</u>	<u>5.01人</u>		技師 C	<u>4.11</u>	<u>3.78</u>	<u>7.89人</u>		技師 D	—	<u>0.28</u>	<u>0.28人</u>						
種目	単位	規模	職種	外業	内業	計	備考																																																																		
地域区分及び 標準地選定等業務	業 務	2～3 区分	主任技師	<u>0.92</u>	<u>1.76</u>	<u>2.68人</u>																																																																			
			技師 A	<u>3.55</u>	<u>1.24</u>	<u>4.79人</u>																																																																			
			技師 C	<u>3.55</u>	<u>4.44</u>	<u>7.99人</u>																																																																			
			技師 D	—	<u>0.39</u>	<u>0.39人</u>																																																																			
種目	単位	規模	職種	外業	内業	計	備考																																																																		
地域区分及び 標準地選定等業務	業 務	2～3 区分	主任技師	<u>0.58</u>	<u>1.34</u>	<u>1.92人</u>																																																																			
			技師 A	<u>4.11</u>	<u>0.90</u>	<u>5.01人</u>																																																																			
			技師 C	<u>4.11</u>	<u>3.78</u>	<u>7.89人</u>																																																																			
			技師 D	—	<u>0.28</u>	<u>0.28人</u>																																																																			

改 正 案								現 行							
表12-4								表12-4							
種目	単位	規模	職種	外業	内業	計	備考	種目	単位	規模	職種	外業	内業	計	備考
標準地価格の 算定業務	標準地	—	主任技師	—	<u>1.32</u>	<u>1.32人</u>		標準地価格の 算定業務	標準地	—	主任技師	—	<u>1.09</u>	<u>1.09人</u>	
			技師 A	—	<u>2.05</u>	<u>2.05人</u>					技師 A	—	<u>1.91</u>	<u>1.91人</u>	
			技師 C	—	<u>2.03</u>	<u>2.03人</u>					技師 C	—	<u>1.87</u>	<u>1.87人</u>	
			技師 D	—	<u>0.15</u>	<u>0.15人</u>					技師 D	—	<u>0.10</u>	<u>0.10人</u>	
注（略）								注（略）							
<b>6 各画地の評価格算定業務</b>								<b>6 各画地の評価格算定業務</b>							
各画地評価格算定業務は、画地判定、個別的要因調査、比準算定等を行うものとし、これに要する直接人件費の積算は、表12-5によるものとする。								各画地評価格算定業務は、画地判定、個別的要因調査、比準算定等を行うものとし、これに要する直接人件費の積算は、表12-5によるものとする。							
表12-5								表12-5							
種目	単位	規模	職種	外業	内業	計	備考	種目	単位	規模	職種	外業	内業	計	備考
各画地の評価格 算定業務	100画地	—	技師 A	<u>3.28</u>	<u>12.51</u>	<u>15.79人</u>		各画地の評価格 算定業務	100画地	—	技師 A	<u>2.30</u>	<u>11.33</u>	<u>13.63人</u>	
			技師 C	<u>3.28</u>	<u>8.75</u>	<u>12.03人</u>					技師 C	<u>2.30</u>	<u>8.54</u>	<u>10.84人</u>	
			技師 D	—	<u>0.54</u>	<u>0.54人</u>					技師 D	—	<u>0.47</u>	<u>0.47人</u>	
注（略）								注（略）							
<b>7 残地補償算定業務</b>								<b>7 残地補償算定業務</b>							
残地補償算定業務は、残地状況把握、比準表の適用、補償額の算定等を行うものとし、これに要する直接人件費の積算は、表12-6により行うものとする。								残地補償算定業務は、残地状況把握、比準表の適用、補償額の算定等を行うものとし、これに要する直接人件費の積算は、表12-6により行うものとする。							

改 正 案								現 行							
表12-6								表12-6							
種目	単位	規模	職種	外業	内業	計	備考	種目	単位	規模	職種	外業	内業	計	備考
残地補償			技師 A	1.55	7.48	9.03人		残地補償			技師 A	1.17	6.66	7.83人	
算定業務	100画地	—	技師 C	1.55	4.60	6.15人		算定業務	100画地	—	技師 C	1.17	4.08	5.25人	
			技師 D	—	0.29	0.29人					技師 D	—	0.25	0.25人	
注 (略)								注 (略)							
(略)								(略)							
(別添2)国土交通省関東地方整備局用地調査等業務費積算基準 (令和7年11月時点)								(別添2)国土交通省関東地方整備局用地調査等業務費積算基準 (令和6年8月時点)							
(略)								(略)							

改正案	現 行
<p>1～3 （略）</p> <p>4 業務費の算出</p> <p>(1)～(2) （略）</p> <p>(3) 直接経費</p> <p>ア （略）</p> <p>イ 旅費交通費</p> <p>(ア) （略）</p> <p>(イ) 出張旅費は、内容説明書に示した想定区間・回数に基づき、技術員の交通費、<u>宿泊費及び宿泊手当</u>を必要に応じ計上するものとし、<u>算定</u>については、<u>「土地調査測量積算要領」に準ずる。</u></p> <p>(ウ) （略）</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	<p>1～3 （略）</p> <p>4 業務費の算出</p> <p>(1)～(2) （略）</p> <p>(3) 直接経費</p> <p>ア （略）</p> <p>イ 旅費交通費</p> <p>(ア) （略）</p> <p>(イ) 出張旅費は、内容説明書に示した想定区間・回数に基づき、技術員の交通費<u>及び</u>宿泊費_____を必要に応じ計上するものとし、<u>宿泊費</u>_____については、<u>「役務関係技術者賃金」のうち「技術者等の宿泊費・日当」の「役務関係技術者」の「宿泊費」の欄を適用する。</u></p> <p>(ウ) （略）</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>

改正案	現行		
<p>I (略)</p> <p>II 業務費</p> <p>1 (略)</p> <p>2 業務費の内容</p> <p>(1) 作業価格</p> <p>ア 直接作業費 (略)</p> <p>(ア)～(ウ) (略)</p> <p>(エ) 直接経費</p> <p>(a) 旅費交通費 (略)</p> <p>(a)－1 (略)</p> <p>(a)－2 旅費交通費の率を用いた積算(宿泊、滞在を伴う業務の場合)</p> <p>① (略)</p> <p>② 率を用いた場合の<u>宿泊費・宿泊手当</u>の積算</p> <p><u>ア) 宿泊費</u></p> <p><u>宿泊費は旅行中の宿泊に要する費用とし、その額は地域の実情を勘案して定める宿泊費基準額(税抜き)(下記表を参照)と現に支払った額(税抜き)を比較し、いずれか少ない額とする。</u></p> <p><u>(削る。)</u></p>	<p>I (略)</p> <p>II 業務費</p> <p>1 (略)</p> <p>2 業務費の内容</p> <p>(1) 作業価格</p> <p>ア 直接作業費 (略)</p> <p>(ア)～(ウ) (略)</p> <p>(エ) 直接経費</p> <p>(a) 旅費交通費 (略)</p> <p>(a)－1 (略)</p> <p>(a)－2 旅費交通費の率を用いた積算(宿泊、滞在を伴う業務の場合)</p> <p>① (略)</p> <p>② 率を用いた場合の<u>日当・宿泊料</u>の積算</p> <p><u>業務に対して定められた係数(下記表を参照)に延べ宿泊日数及び滞在日数を乗じた額を、日当・宿泊料として積算すること。</u></p> <p><u>往復旅行時間にかかる直接人件費については、別途計上する。</u></p> <p><u>同一業務の中で、複数業務の積算を行う場合は、それぞれの業務の率を用いて算出すること。</u></p> <table border="1" data-bbox="1435 1222 1816 1323"> <tr> <td><u>日当・宿泊料(千円)</u></td> </tr> <tr> <td><u>7.3X</u></td> </tr> </table> <p><u>X: 延べ宿泊日数及び滞在日数(休日補正日数は除く)</u></p>	<u>日当・宿泊料(千円)</u>	<u>7.3X</u>
<u>日当・宿泊料(千円)</u>			
<u>7.3X</u>			

改 正 案				現 行	
<u>宿泊費基準額（円・税抜き）（一夜につき）</u>				<u>（新設）</u>	
<u>区分</u>	<u>宿泊費基準額 （一夜につき）</u>	<u>区分</u>	<u>宿泊費基準額 （一夜につき）</u>		
北海道	11,818	滋賀県	10,000		
青森県	10,000	京都府	17,272		
岩手県	8,181	大阪府	11,818		
宮城県	9,090	兵庫県	10,909		
秋田県	10,000	奈良県	10,000		
山形県	9,090	和歌山県	10,000		
福島県	7,272	鳥取県	7,272		
茨城県	10,000	島根県	8,181		
栃木県	9,090	岡山県	9,090		
群馬県	9,090	広島県	11,818		
埼玉県	17,272	山口県	7,272		
千葉県	15,454	徳島県	9,090		
東京都	17,272	香川県	13,636		
神奈川県	14,545	愛媛県	9,090		
新潟県	14,545	高知県	10,000		
富山県	10,000	福岡県	16,363		
石川県	8,181	佐賀県	10,000		
福井県	9,090	長崎県	10,000		
山梨県	10,909	熊本県	12,727		
長野県	10,000	大分県	10,000		
岐阜県	11,818	宮崎県	10,909		
静岡県	8,181	鹿児島県	10,909		
愛知県	10,000	沖縄県	10,000		
三重県	8,181				
<p><u>1) 宿泊手当</u></p> <p><u>宿泊手当は、宿泊を伴う旅行に必要な諸雑費に充てるための費用とし、その額は、通常要する費用の額を勘案して定める一夜当たりの定額2,181円（国内一律、税抜き）とする。</u></p>				<u>（新設）</u>	







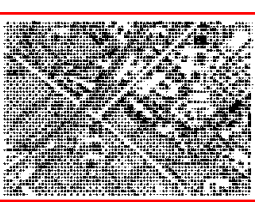

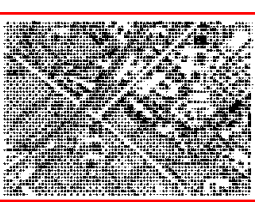




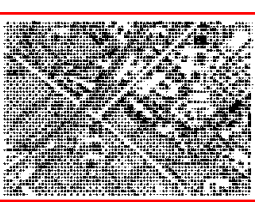

改 正 案	現 行
<p>③ （略）</p> <p>(a)－3 旅費交通費の率を用いない積算</p> <p>① 通勤及び宿泊・滞在の区分</p> <p>ア) （略）</p> <p>イ) 現地に滞在して業務を行う場合 上記ア)の範囲を超え、現地に滞在して業務を実施する必要がある場合は、<u>② 旅費交通費の取扱い</u> で定める<u>宿泊費及び宿泊手当</u>を適用するものとする。</p> <p>また、付替道水路財産整理等業務においては、滞在地から現地までの連絡車（ライトバン）運転にかかるガソリン代については材料費として別途計上し、損料については機械経費に含むものとする。</p> <p>② 旅費交通費の取扱い <u>(削る。)</u></p> <p>ア) 鉄道__賃等</p> <p>(i) 鉄道__賃等については、その乗車に要する運賃<u>(特急料金等を含む)</u>を計上する。</p> <p>(ii) 複数の経路がある場合、<u>以下a)～e)のいずれかに該当する経路の鉄道賃等を計上することができる。</u></p>	<p>③ （略）</p> <p>(a)－3 旅費交通費の率を用いない積算</p> <p>① 通勤及び宿泊・滞在の区分</p> <p>ア) （略）</p> <p>イ) 現地に滞在して業務を行う場合 上記ア)の範囲を超え、現地に滞在して業務を実施する必要がある場合は、<u>役務関係技術者賃金表の技術者等の日当・宿泊料の項</u>を適用するものとする。</p> <p>また、付替道水路財産整理等業務においては、滞在地から現地までの連絡車（ライトバン）運転にかかるガソリン代については材料費として別途計上し、損料については機械経費に含むものとする。</p> <p>② 旅費交通費の取扱い</p> <p>ア) <u>旅費交通費の積算において、普通日額旅費については、積算上計算しないものとする。</u></p> <p>イ) 鉄道<u>運賃</u>等</p> <p>(i) 鉄道<u>運賃</u>等については、その乗車に要する運賃_____を計上する。</p> <p>(ii) 複数の路線がある場合は、<u>安い方の運賃を計上する。</u></p>

改正案	現 行
<p><u>a) 最も安価な経路</u></p> <p><u>b) 最も安価な経路に比べて、移動時間の短縮が可能である経路</u></p> <p><u>c) 最も安価な経路に比べて、乗換回数が少ない等、交通の遅延等による経路変更や取消・変更料の発生の危険性が低い経路</u></p> <p><u>d) 最も安価な経路が航空機を用いない経路である場合において、最も安価な経路によると出発地から用務先までの旅行時間に4時間程度以上を要するときの、航空機を用いる経路</u></p> <p><u>e) 最も安価な経路では日帰りができない場合において、日帰りが可能となる経路</u> <u>(削る。)</u></p> <p><u>イ) 宿泊費</u> <u>宿泊費については、(a)-2 ② ア) 宿泊費のとおりとする。</u></p> <p><u>ロ) 宿泊手当</u> <u>宿泊手当については、(a)-2 ② イ) 宿泊手当のとおりとする。</u></p>	<p><u>(iii) 特急料金等については、次により計上するものとする。</u></p> <p><u>a) 特急列車を運行している区間については、片道100km以上(乗車可能区間)であれば、特急料金を計上する。</u></p> <p><u>b) 急行列車を運行している区間については、片道50km以上(乗車可能区間)であれば、急行料金を計上する。</u></p> <p><u>ウ) 宿泊料</u> <u>宿泊料は、役務関係技術者賃金表による。</u></p> <p><u>エ) 日当</u> <u>日当は、役務関係技術者賃金表による。</u> <u>日当は、宿泊を伴う場合で、積算上の基地から目的地への往復</u></p>

改正案	現行
<p>③ 宿泊を伴う外業所要日数の休日補正の算定            宿泊を伴う外業所要日数の休日補正は、外業に従事する技術者別に次式により算出する。</p> $D_i = C_i + [(C_i - 1) / 5] \times 2 \text{ (土曜・日曜を休日とする場合)}$ <p>ただし、[ ] 内については、小数点以下を切捨て整数とする。</p> $S_i = D_i \times (\text{技術者別編成人員})$ <p><math>C_i</math> : 標準作業量における技術者別各作業区分の外業所要日数の合計  <math>D_i</math> : 補正された外業所要日数  <math>S_i</math> : 補正された外業延人日数 (小数点以下を四捨五入し整数とする。)  <math>i</math> : 測量技術者</p>	<p><u>に要した日数について計上する。</u>  <u>計上する日当については、2分の1日当を原則とする。</u></p> <p>③ 宿泊を伴う外業所要日数の休日補正の算定            宿泊を伴う外業所要日数の休日補正は、外業に従事する技術者別に次式により算出する。</p> $D_i = C_i + [(C_i - 1) / 5] \times 2 \text{ (土曜・日曜を休日とする場合)}$ <p>ただし、[ ] 内については、小数点以下を切捨て整数とする。</p> $S_i = D_i \times (\text{技術者別編成人員})$ <p><math>C_i</math> : 標準作業量における技術者別各作業区分の外業所要日数の合計  <math>D_i</math> : 補正された外業所要日数  <math>S_i</math> : 補正された外業延人日数 (小数点以下を四捨五入し整数とする。)  <math>i</math> : 測量技術者</p>

改 正 案						現 行	
<p><u>【計算例】外業が測量主任技師8日、測量技師26日、測量技師補・測量助手各33日、編成人員各1名とした場合</u></p>						(新設)	
区 分	現行外業 所要日数	休 日 補正日数	補正後外業 所要日数	外 業 編成人員	補 正 後 延人日数		
$i$	$C_i$	$[(C_i-1)/5] \times 2$	$D_i$		$S_i$		
測量主任技師	8	$[(8-1)/5] \times 2 = 2.8 \approx 2$	$2+8=10$	1	$10 \times 1 = 10$		
測 量 技 師	26	$[(26-1)/5] \times 2 = 10$	$26+10=36$	1	$36 \times 1 = 36$		
測量技師補	33	$[(33-1)/5] \times 2 = 12.8 \approx 12$	$33+12=45$	1	$45 \times 1 = 45$		
測 量 助 手	33	$[(33-1)/5] \times 2 = 12.8 \approx 12$	$33+12=45$	1	$45 \times 1 = 45$		
<p>④ 旅費交通費の構成</p> <p>旅費交通費 = 交通費 + 宿泊費 + 宿泊手当</p> <p>※ 往復旅行時間にかかる直接人件費は別途計上する。</p> <p>(略)</p>						<p>④ 旅費交通費の構成</p> <p> <math display="block">\text{旅費交通費} = \underbrace{\text{普通旅費相当分}}_{(\text{日当} + \text{交通費})} + \underbrace{\text{滞在日額旅費相当分}}_{\text{宿泊料 (1泊)} + \text{宿泊料} \times \text{必要日数}}</math> </p> <p>※ 往復旅行時間にかかる直接人件費を計上する場合は、その旨内容説明書等に明示する。</p> <p>(略)</p>	



改正案	現 行																		
<p>Ⅲ 標準歩掛</p> <p>1～2 （略）</p> <p>3 地域区分の標準は次のとおりとする。</p> <p>地域区分表 （略）</p> <p>別図</p> <table border="1" data-bbox="224 552 1093 1399"> <tr> <td data-bbox="224 552 524 833"> <p>別図1 大市街地</p>  </td> <td data-bbox="524 552 806 833"> <p>別図2 市街地甲</p>  </td> <td data-bbox="806 552 1093 833"> <p>別図3 市街地乙</p>  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="224 833 524 1117"> <p>別図4 都市近郊</p>  </td> <td data-bbox="524 833 806 1117"> <p>別図5 耕地</p>  </td> <td data-bbox="806 833 1093 1117"> <p>別図6 原野</p>  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="224 1117 524 1399"> <p>別図7 森林</p>  </td> <td data-bbox="524 1117 806 1399"></td> <td data-bbox="806 1117 1093 1399"></td> </tr> </table>	<p>別図1 大市街地</p> 	<p>別図2 市街地甲</p> 	<p>別図3 市街地乙</p> 	<p>別図4 都市近郊</p> 	<p>別図5 耕地</p> 	<p>別図6 原野</p> 	<p>別図7 森林</p> 			<p>Ⅲ 標準歩掛</p> <p>1～2 （略）</p> <p>3 地域区分の標準は次のとおりとする。</p> <p>地域区分表 （略）</p> <p>別図</p> <table border="1" data-bbox="1205 552 2096 1399"> <tr> <td data-bbox="1205 552 1505 833"> <p>別図1 大市街地</p>  </td> <td data-bbox="1505 552 1787 833"> <p>別図2 市街地甲</p>  </td> <td data-bbox="1787 552 2096 833"> <p>別図3 市街地乙</p>  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1205 833 1505 1117"> <p>別図4 都市近郊</p>  </td> <td data-bbox="1505 833 1787 1117"> <p>別図5 耕地</p>  </td> <td data-bbox="1787 833 2096 1117"> <p>別図6 原野</p>  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1205 1117 1505 1399"> <p>別図7 森林</p>  </td> <td data-bbox="1505 1117 1787 1399"></td> <td data-bbox="1787 1117 2096 1399"></td> </tr> </table>	<p>別図1 大市街地</p> 	<p>別図2 市街地甲</p> 	<p>別図3 市街地乙</p> 	<p>別図4 都市近郊</p> 	<p>別図5 耕地</p> 	<p>別図6 原野</p> 	<p>別図7 森林</p> 		
<p>別図1 大市街地</p> 	<p>別図2 市街地甲</p> 	<p>別図3 市街地乙</p> 																	
<p>別図4 都市近郊</p> 	<p>別図5 耕地</p> 	<p>別図6 原野</p> 																	
<p>別図7 森林</p> 																			
<p>別図1 大市街地</p> 	<p>別図2 市街地甲</p> 	<p>別図3 市街地乙</p> 																	
<p>別図4 都市近郊</p> 	<p>別図5 耕地</p> 	<p>別図6 原野</p> 																	
<p>別図7 森林</p> 																			

改正案	現 行
<p>(略)</p> <p><u>(削る。)</u></p>	<p>(略)</p> <p><u>参 考</u></p> <p><u>旅費交通費等の積算例（滞在時）</u></p> <p><u>土地調査測量積算要領の旅費交通費等の積算例（滞在時）を参考に積算するものとする。</u></p>